



令和6年度「知」の集積による産学連携支援事業

## 中四国アグリテック講演会

# 農と食の未来を創る!!

参加費無料  
先着100名

### ～産学連携で地域農業の持続的な発展を～

## 2024年6月28日 [金] 14:30～17:00 (受付14:00)

会場

岡山国際交流センター  
2階 国際会議場(岡山市北区奉還町2-2-1)

世界的な食料需給の変化に伴う食料供給のリスクの高まりや、地球環境問題への対応など、食料・農業を取り巻く情勢が想定を超えるレベルで変化しています。

そんななか、食料・農業・農村基本法を見直して食料安全保障を新たに位置づけるなど、食料・農業システムが大きく転換する今、何が問題で、どう対応すべきなのか、持続可能な農業や食品産業の構築へ向けた課題とビジネスの可能性を探ります。



### 講演1 社会経済環境の変化と農業

14:30～15:30



講師：農林中金総合研究所リサーチ&ソリューション第2部 主任研究員 小田 志保 氏

世界人口が増加する見込みのなか、日本国内では人口減少から市場の縮小が予測されています。戦後、国民に向けたタンパク質の供給源として、アジア諸国でいち早く発展した日本の酪農ですが、現在は他の農業分野同様に新たな局面を迎えています。さらに、フードサプライチェーンでSDGsの取組みが重要になるなか、新たに代替タンパクというライバルが台頭するようになってきました。こうした局面を打開するには、農業においても、各種の国際基準に則った営農管理の実行等が重要となり、そこでは、社会経済的な制度の展開に下支えされた、スマート農業や精密発酵等、先端技術の実装が不可欠です。その中でも日本の酪農を囲む先端技術と社会経済制度等の動きを取りまとめ、参加者の皆さまの新たな事業展開に向けた示唆が提供できればと考えています。

### 講演2 持続可能な地域と農業を目指して～地域参加の生産加工と地産外消～

15:30～16:30



講師：十字屋グループ 代表 牧 一穂 氏

十字屋グループは、社会福祉から環境衛生、地方創生まで幅広く、省庁、自治体と連携し、さまざまな課題に取り組んでいます。特に、環境省とは(D.Waste-Net)委員として、防災と地域の持続的な開発のための地域循環共生圏づくりに取り組み、真庭市とは脱炭素と資源循環、国連が進めるSDGsに取り組み、そのスキームは日本の循環のモデルとなっています。また吉備中央町とは内閣府が進めるデジタル田園都市国家構想のデジタル田園医療特区の採択を受け、誰一人取り残さないをテーマにデジタルを用いたインクルーシブな町づくりに貢献しています。

質疑・意見交換 16:30～17:00

### 参加申込方法・問い合わせ先

右のQRコードから、または、氏名・所属・連絡先をご記入の上、メール、FAXにて中四国アグリテック事務局までお申込みください。

特定非営利活動法人 中国四国農林水産・食品先進技術研究会 (NPO法人中四国アグリテック)

✉ : agri-tech2007@dune.ocn.ne.jp

TEL : 086-237-3340 FAX : 086-201-0551

詳しくは

<https://www.agritech2007.jp/>

